

第45回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

「美術館見学と庭園散策」

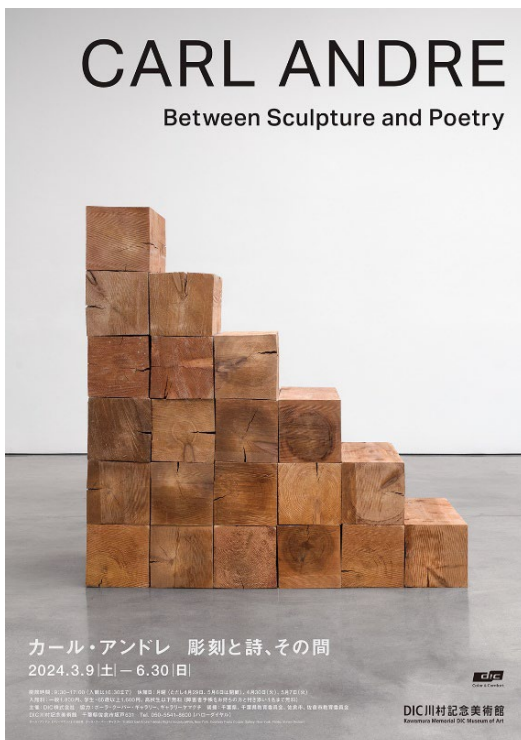
当番世話人 山田 昌之

6月26日(水)の例会開催は、梅雨入りし高温が続く中、天候には気になりましたが、幸いにも当日は曇天28℃位で、美術館見学と庭園散策を行いました。
JR佐倉駅9時35分に参加者9名が集合し、美術館の送迎バスでDIC川村記念美術館に向かいました。



・JR佐倉駅から送迎バスでDIC川村記念美術館に向かう

綺麗に植えられた田園や、小高い丘をすり抜けて美術館に着きました。
DIC川村記念美術館は3万坪の広大な敷地に 美術館、白鳥が泳ぐ大きな池、スポーツ広場や林間を歩き季節の花を楽しむ場所が併設されています。



・1・2階は、川村美術館コレクションのモネ、ルノアール、ピカソ、マティス、マーク・ロスコ、マリー・ローランサン等の絵を堪能しました。

そして、今回目的の特別展は“カール・アンドレ”
【 彫刻と詩、その間 】

・日本の美術館において初めての個展となる木展は、木、金属、石の同一ユニットを床に直接置き、規則的に広がるアンドレの彫刻作品を大きな空間で展開されておりました。

＊作品鑑賞後、心地よい風が吹く中、併設の庭園内を散策しました。



＊散策途中、冷房が完備されているテラスでひと時の休息。



※ 休息後、大賀ハスの茂る池を目指す。



※ “大賀ハス” は、1951 年（昭和 26 年）
千葉県検見川にある現・東京大学の落合
遺跡で発掘された、今から 2000 年前の
古代のハスの実から発芽・開花したハス
（古代ハス）





*参加者（敬称略） 9名

牧田賢二 六角 學 山田昌之 櫻井 實 平木行雄 小口健一郎 住田勝治
藤井弘道 岩崎正憲

*懇親会では会話が弾み、今思うと会社への感謝の気持ちと、会員の減る中支部役員の
気苦労を知り、行事には極力参加しようと話し合い、10月の再開を約して解散しました。

